

# 我所上映会顛末記

取材協力：宮城野の風の会

シネサラダでは前号での予告通り、10月6日に戦災復興記念館にて、上映会「仙台インディーズ・ムービー・セレクション・スペシャル」を行った。

今回はエンターテインメント系作品を集めたスペシャル版であったが、お客さんの入りは、決して良いとは言えないものであった。

シネサラダの上映会は結構無茶苦茶面白いので、次からはみんな観にくるようになる。

ウルトラセブン 監督：岸波 清史

今回の上映会での、超お気に入り作品。きめ細かい演出に、はっきり言って、震えた。(みの)

仮面ライダースペシャル 監督：志子田 仁人

第一回目の上映会の時に、この映画と小田中監督のを見逃したので(こう書けば小田中映画も観れるだろう)、今回のアンコール上映はラッキー。そのストーリーは限りなく映画であり、子供の頃満足していた「まんが祭り」が、あれは一体何だったんだろうと思う。仙台のアマチュア監督は、ジャンルに関係なくこの映画を観てほしい。(みの)

悪魔の誕生日 監督：池田 健太

10月の上映会作品の中で、一番観たいなあと思っていたのがこの作品でした。理由は、唯一女の子が主人公の作品だったから…。映画を自主制作していく上で、私は役者として参加していきたいと思っているので、出演者がどんな演技をしているのか、芸能人よりも身近に感じる「女優」を見て少しでも自分の中に押さえていけるものがあつたらと考えていたのです。作品は、テンポ良く仕上がっていたと思います。構成も良く、笑いの要所が的を得ていたし、なんといっても、あの手のギャグは私の好きな分野だから日常生活の参考にしたいです。肝心の「女優」さんについてですが、優しい雰囲気を持つかわいかったです。女の子らしい新鮮な演技だったと思います。映画を見終えた後でこの方が亡くなっている事を知りました。多分これからこの作品以上にいい作品を観ても、私はこの「悪魔の誕生日」をずっと覚えていると思います。(芳野)

河崎実監督

「エスパイザー」

より

エスパイザー 監督：河崎 実

流石に質の高い作品でした。色の映りも、ストーリーの構成や展開、役者さんたちの演技力も、全てが、見応えのある作品でした。私が小さいころに見ていたヒーローものを思い出させる懐かしい感じの作品で、笑いのネタも、今とは感覚が違うので新鮮でした。パワーみなぎるって感じで、時間とお金をかければここまで作れるんだと思いました。でも、やっぱり優れた才能と根気強さが、現在プロとして活躍されている一番の決め手なんですよ。(芳野)

いきなり若大将 監督：河崎 実

一番最後の上映でありながら、苦痛を感じさせなかったのは、その完成度の高さ故か。イコちゃんシリーズで始めて知ったクチだが、河崎監督のケツタイにしてチープな語り口がこの映画で大爆発しているのだ。出来れば、ウルトラマスクは無いほうが私の好みなんだけど、監督のキャラクターやもんなあ。主演の南郷勇一氏の当たり役。今一度あなたに青春爆発もの映画でおめにかかりたいです。(みの)



## GARAGE MAIB ACTRESS SAGA 8名女優列伝

フィルムは人の時を停める。停まった時を人に伝えることのできる効率率は悪いが唯一の手段だと思う。

8m/m映画はたいてい1度か2度位しか公開されない。多くても数度しか銀幕にのぼることのない女優について語るということは、作品そのものを語ることに他ならないと思うのだがどうだろうか。

というわけで、作品を紹介することによってその女優の魅力を伝えてゆきたいというのがこのコーナーの「ウリ」としたく思います。

(できるかあ?) 私自体の知っている方も幾人かはいますが……そ

う長く続くコーナーでもないのかもしれないがとりあえず第1回目をはじめましょう。これより前向きに行こう。「少女のもとにある日一人の見知らぬ少年が迷いこんでくる。人を殺してしまったという少女のために少年ははしりまわらるが……」と、その少女いづみを演じているのは、当時東北学院大映画部にいらっかった菊地三奈子さん。彼女は外にも「ハートブレイク片手にDANCEに夢中」(必見!)や、「なつのおとしこ」「ドクトル結城の逆襲」といった傑作群に出演していますがやはりこの「ナーバス」がきわめつけ。岸田森における「怪奇大作戦」のようなものでしょう。活劇調に仕立てられたこの映画ですがその根府に流れているのは、思春期特有の「閉鎖と解放」のテーマ

みたいなのであって、「BUSU」に通じるもの…でしょうか。その中心にいる「少女」というものを彼女ならではの「引きの強い可愛さ」で演じきっています。とにかく、ひとくちに「美少女ムービー」と言い切れない魅力を持つ映画です。そして、この映画の魅力の大半は彼女の持ち味であるキーの高い声と、独特の「少女感」が支えているといってもいいのではないのでしょうか。(VIDEOはシネサラダでレンタル中)



# 電撃通信

「ジャッカー電撃隊」の制作は、また「ほとんど」スズンでません。またまた作りものが沢山あります。気長に待て下さい。

「トリビア」セゾイ まで

TRUMP

02も前に何回か予告した「BAMBI」や「フィルム」ができておぼろげに。残すは我が「ジャッカー」のみ、うんあせつてします。造型の下ウケでございませぬ。